

NEWS RELEASE

各位

2012年6月12日

株式会社 MCA

MCA、「国内スマタブ市場の動向と戦略分析-2011年度-」の販売を開始

～スマタブ時代へ向けたモバイル市場の変化と参加プレーヤの戦略の行方～

移動体通信・IT 分野専門の調査会社である株式会社 MCA（所在地：東京都豊島区南池袋 3-18-30、代表者：天野浩徳、TEL：03-5928-5925）が 2012 年 6 月 12 日に、調査レポート「国内スマタブ市場の動向と戦略分析-2011 年度-～スマタブ時代へ向けたモバイル市場の変化と参加プレーヤの戦略の行方～」（価格：税込 50,000 円）を発刊しました。

「国内スマタブ市場の動向と戦略分析-2011 年度-」

～スマタブ時代へ向けたモバイル市場の変化と参加プレーヤの戦略の行方～

http://www.mca.co.jp/pay_contents/FormMail/smart+tab%20report.html

■調査概要

携帯電話市場は、ガラケー（フィーチャーフォン）からスマタブ（スマートフォン・タブレット）時代へと大きく舵を切り、2011 年度のスマートフォン出荷は前年度の 2 倍以上となる約 2,400 万台まで拡大しました。また、タブレットに関しては、先行する「iPad」を追撃すべく Android 陣営も新端末投入で対抗していますが、市場的にはまだ規模が小さく、2012 年度が成長期に向けたターニングポイントになるとみられています。

スマタブの普及は、セルラーキャリアにとって、ARPU 収入の増加という果実があります。しかし、スマタブは大容量のトラフィックを発生させるため、モバイルインフラの設備増強や Wi-Fi へのオフロード対策などが急務となっており、その点からも新たな時代の競争がはじまったばかりです。

本調査では、以上のような状況を踏まえ、今後、主流となっていくスマタブへフォーカスし、パブリックデータの収集はもちろんのこと、関係者への取材を通じて当該市場を総合的に把握し、ベンダ各社の事業戦略を明らかにします。さらにスマタブ市場全体の未来像についても明らかにすることも目的としています。

■調査レポートのポイント

- ✓スマタブ市場の規模&ベンダシェア
- ✓参加プレーヤ（セルラーキャリア&端末ベンダ）の戦略分析
- ✓スマタブ市場の Forecast

IT Forecast Report

<http://www.mca.co.jp/ifr/top.htm>

■ 調査対象先

分類	対象企業
セルラーキャリア	KDDI (au)、NTT ドコモ、イー・アクセス (イー・モバイル)、ソフトバンクモバイル
スマートフォンベンダ	Apple Japan、HTC NIPPON、LG Electronics Japan、Pantech Wireless Japan、ZTE ジャパン、カシオ計算機、京セラ、サムスン電子ジャパン、シャープ、ソニーモバイルコミュニケーションズ、デル、日本電気 (NEC)、パナソニック モバイルコミュニケーションズ、ファーウェイ・ジャパン、富士通、モトローラ・モビリティなど
タブレットベンダ	Apple Japan、LG Electronics Japan、サムスン電子ジャパン、シャープ、ソニー、東芝、日本電気 (NEC)、ファーウェイ・ジャパン、富士通、モトローラ・モビリティなど

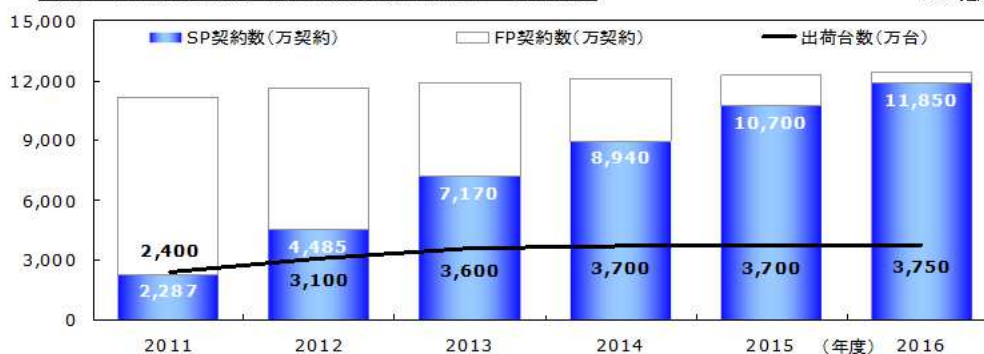
■ 調査結果抄録

2. スマタブの契約数・出荷台数の推移と予測(2011~2016年度)

2-1. スマートフォン

図:スマートフォンの契約数・出荷台数の推移と予測(2011~2016年度)

MCA推定



✓2011年度のスマートフォン比率は契約数が全体の20%、出荷台数は全体の50%強

契約数は前年度1,463万増、出荷台数が前年度比166.7%増と大幅に拡大。キャリア各社による端末価格の値下げや割引サービス、キャンペーンの実施などのスマートフォン(SP)移行促進策、ベンダ各社によるラインナップの拡充などが寄与。

2. スマタブの契約数・出荷台数の推移と予測(2011~2016年度)

2-2. タブレット

図:タブレットの契約数・出荷台数の推移と予測(2011~2016年度)

MCA推定



✓2010年度に市場が形成され、2011年度の3Gタブレット市場は全体の1/3

3Gタブレットはソフトバンクモバイルが2010年5月に「iPad」を投入。2010年度は「iPad」のみの3Gタブレットとなり、iPadが市場を創出。2011年4月に「iPad 2」が、2011年10月には「GALAXY Tab 10.1 LTE SC-01D」が投入され、国内3Gタブレット市場は海外ベンダが席巻。国内ベンダでは富士通とソニーが2011年10月にNTTドコモへ供給を開始。国内外ベンダの参入により、3Gタブレットのラインナップが拡大し、キャリア各社も割引サービスやキャンペーンを積極的に展開。2011年度の3GとWi-Fiタブレットに占める3G比率は33.3%と推定。

4. 市場の普及拡大要因・阻害要因

4-1. 市場の普及拡大要因

4-1-1. スマートフォン

✓スマートフォンユーザーを移行させたいキャリア各社のイメージ展開

スマートフォンの利用イメージをわかりやすく表現した TVCM や広告を積極的に展開。

✓販売インセンティブや割引サービス、キャンペーンなどで端末価格を値下げ

キャリア各社は販売インセンティブの積み増しや割引サービスの提供、キャンペーンの実施などで端末価格を値下げし、価格面でスマートフォンへの移行を促進。

✓大幅に機種数を拡充し、スマートフォンユーザーを誘導

2012年夏モデルにおいて、スマートフォン+フィーチャーフォン 33機種中 27機種がスマートフォンとなり、高齢層向けや放射線測定機能搭載などラインナップを大幅に拡充。

✓スマートフォン・タブレット向けサービスとコンテンツの提供

キャリア各社はスマートフォン・タブレット向けに、魅力的なサービスや映像コンテンツの提供を開始。

4-1-2. タブレット

✓キャリア各社によるタブレット向け割引キャンペーンの実施

ユーザのタブレット利用による負担軽減に、端末価格や月額利用料の割引サービスを積極的に展開。

✓ノートPCやネットブックよりも使いやすいタブレットの利便性

起動に時間のかかるノートPCや、パソコンと同様の操作性のネットブックよりも、タブレットは起動も早く、操作も簡単。

✓企業規模を問わず、各種業界でのタブレット導入進む

キャリア各社の積極的な法人展開により、医療や教育分野など、さまざまな業界でのタブレット導入が進行中。

■調査レポートの内容

1. スマートフォン市場の構図 (Snap Shot)
 - 1-1. スマートフォン市場の構図 (Snap Shot)
 - 図：スマートフォン市場の構図 (Snap Shot)
2. スマタブの契約数・出荷台数の推移と予測 (2011～2016 年度)
 - 2-1. スマートフォン
 - 図：スマートフォンの契約数・出荷台数の推移と予測 (2011～2016 年度)
 - 2-2. タブレット
 - 図：タブレットの契約数・出荷台数の推移と予測 (2011～2016 年度)
3. 端末ベンダのシェア (2011 年度)
 - 3-1. スマートフォン
 - 図：スマートフォンベンダのシェア (2011 年度)
 - 3-2. タブレット
 - 図：タブレットベンダ (3G) のシェア (2011 年度)
4. 市場の普及拡大要因・阻害要因
 - 4-1. 市場の普及拡大要因
 - 4-1-1. スマートフォン
 - 4-1-2. タブレット
 - 4-2. 市場の普及阻害要因
 - 4-2-1. スマートフォン
 - 4-2-2. タブレット
5. セルラーキャリアのスマタブ戦略
 - 5-1. NTT ドコモ
 - 5-1-1. スマートフォン
 - 5-1-2. タブレット
 - 5-2. KDDI (au)
 - 5-2-1. スマートフォン
 - 5-2-2. タブレット
 - 5-3. ソフトバンクモバイル
 - 5-3-1. スマートフォン
 - 5-3-2. タブレット
 - 5-4. イー・アクセス (イー・モバイル)
 - 5-4-1. スマートフォン
 - 5-4-2. タブレット
6. 端末ベンダの戦略分析
 - 表：国内スマートフォンベンダのキャリア別供給マップ
 - 表：国内タブレットベンダのキャリア別供給マップ
 - 表：国内タブレットベンダのタブレット一覧
 - 6-1. 米 Apple
 - 6-2. シャープ
 - 6-3. 富士通
 - 6-4. ソニーモバイルコミュニケーションズ
 - 6-5. 日本電気 (NEC)
 - 6-6. パナソニック モバイルコミュニケーションズ
 - 6-7. サムスン電子ジャパン
 - 6-8. 京セラ
 - 6-9. LG Electronics Japan

7. 今後の市場ロードマップ

7-1. 今後の市場ロードマップ

表：今後の市場ロードマップ

8. 主なスマタブの仕様比較

8-1. スマートフォン

表：主なスマートフォンの仕様比較 (NTT ドコモの docomo with series)

表：主なスマートフォンの仕様比較 (NTT ドコモの docomo with series/
docomo NEXT series)

表：主なスマートフォンの仕様比較 (NTT ドコモの docomo NEXT series)

表：主なスマートフォンの仕様比較 (KDDI (au))

表：主なスマートフォンの仕様比較 (ソフトバンクモバイル)

表：主なスマートフォンの仕様比較 (NTT ドコモ/ソフトバンクモバイル/
イー・アクセス (イー・モバイル))

8-2. タブレット

表：主なタブレットの仕様比較

■調査レポート詳細

発行日：2012年6月12日

判型：PDF ファイル (A4 版 38 頁)

発行・販売：株式会社 MCA

頒価：50,000 円 (税込)

調査期間：2012年5月～2012年6月

■株式会社 MCA (MCA Inc.) の会社概要

設立時期：1993年12月1日

代表者：代表取締役 天野浩徳

資本金：1,000 万円

所在地：〒171-0022 東京都豊島区南池袋 3-18-30 ファースト日野ビル 4F

事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業

・カスタムプロジェクト (委託調査) 業務

・IT Forecast Report (モバイル/IT 調査レポート) の企画/制作/販売業務

■本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社 MCA (MCA Inc.、<http://www.mca.co.jp/>)

担当：大門

E-Mail：info@mca.co.jp

TEL：03-5928-5925

FAX：03-5928-5921